

介護の仕事

スタートガイド

あなたの笑顔が、世界を変える。



目指そう！優しさと支援の
プロフェッショナル

中学生の
みなさんへ贈る



Question ①

「介護」ってなに？

そもそも

年をとると、耳が聞こえなくなったり、目が見えにくくなったり、
ちょっとした段差につまずきやすくなったり…
これまで当たり前に行っていたこともできなくなることがあります。
高齢や障がいなどによって日常生活に不自由がある人に対し、
その人らしい日常生活が送れるように手助けをするのが「介護」です。

介…『助ける』
護…『まもる』



Question ②

誰がどんなカタチで「介護」を支えているの？

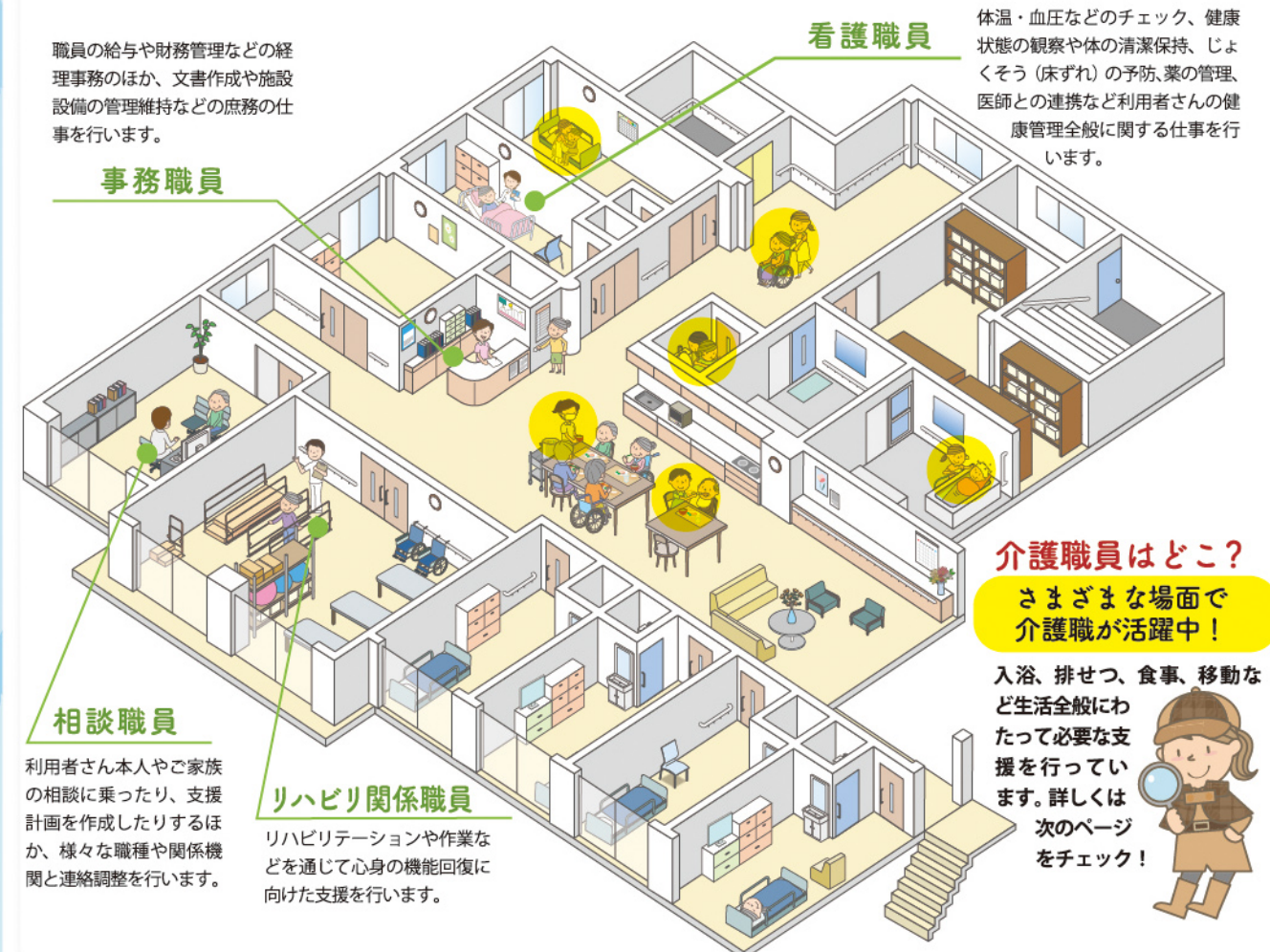
様々な分野のプロが連携し、チームで支えています

介護を必要とする人は、自宅で生活を続ける人、施設へ入所する人、日中だけ施設を利用する人など様々です。そうした生活を多方面から支えるため、多くの職種の職員が関わっています。



様々な分野のプロ

- ◎介護職員
- ◎看護職員
- ◎リハビリ関係職員
- ◎相談職員
- ◎事務職員
- ◎栄養士・調理員 など



介護職員はどこ？
さまざまな場面で介護職が活躍中！

入浴、排せつ、食事、移動など生活全般にわたって必要な支援を行っています。詳しくは次のページをチェック！



Question 3

介護って「どこ」で「どんな」仕事をするの？

介護を必要とする人(利用者さん)が
その人らしく生活するための
様々な介護サービスがあります

介護サービスを提供する施設は大きく分けると
入所型・通所型・訪問型があります。
働くスタイルも施設によってそれぞれ。
「日勤」「早番」「遅番」「夜勤」などといった
交代勤務をするところもあります。

入所型
24時間 365日の介護サービスを提供します。



例 特別養護老人ホームなど

通所型
自宅から通い、日帰りの
介護サービスを提供します。



例 デイサービスなど

訪問型
ホームヘルパーが利用者さんの自宅を訪問して
介護サービスを提供します。



例 訪問介護事業所

特別養護
老人ホームでの
仕事(日勤の例)

利用者さんの生活リズムやその日の体調などを見ながら、
できるだけその方のペースに合わせた
支援を行っています。



8:30

出勤

担当する利用者さんの
その日の様子などについて
引継ぎを受けます。

シーツ交換、清掃

利用者さんが気持ちよく生活できるよう
環境を整えます。

9:00

レクリエーション

利用者さんが楽しく生活できるための工夫を凝らします。

10:00

昼食準備、食事介助

利用者さんの身体状況に合わせて食べやすいように
食材を刻んだり、トロミをつけたりなどの工夫を行っています。

11:30

入浴介助

利用者さんの身体状況に合わせて
入浴の介助を行います。

14:00

15:00

おやつ介助

担当者会議

担当者間でどんなケアを
していくかを話し合い、
情報を共有します。

15:30

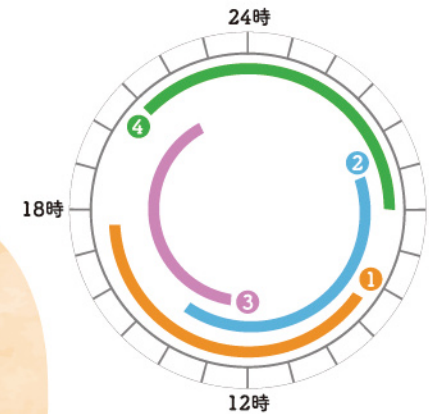
16:30

記録の作成、申し送り
1日の様子を記録し、
次の勤務者に伝えます。

17:30

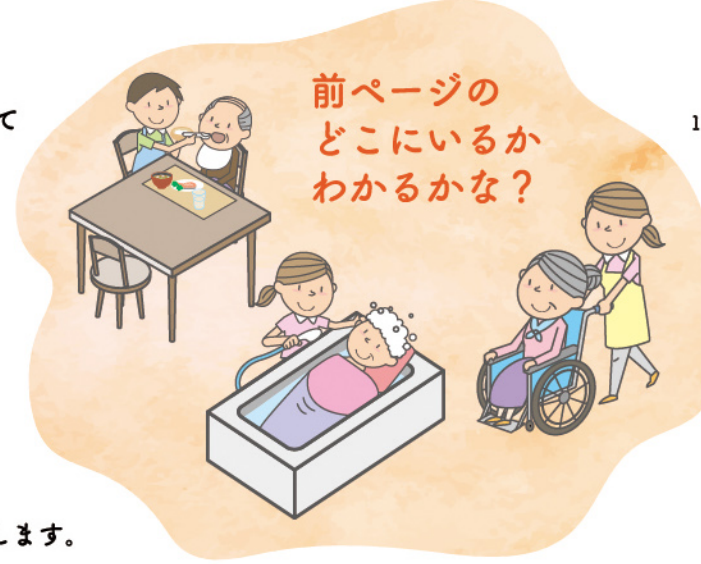
退勤

介護職員の勤務スタイルも様々です



- ① 日勤
- ② 早番
- ③ 遅番
- ④ 夜勤

※勤務パターンは
施設によっても
異なります。

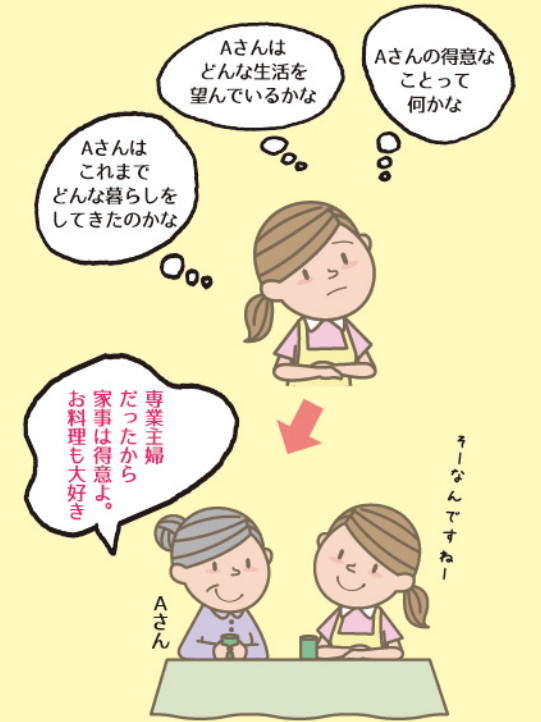


Kaigono Colum 1

「介護の考え方」

介護職員が できること

——利用者さんの『思い』を
大切にすることです。



Aさんが得意なお料理を
一緒に作ってみました



一人一人生活してきた環境や習慣が異なりますし、大事にしていること・考え方もそれぞれです。

高齢になると今まで通りの生活ができない部分もでてきますが、できること・得意なことを活かしつつ、その人らしく生活するための支援をするのが介護の仕事です。



教えて、先輩！「介護の仕事の毎日や、やりがいを聞きました！」



介護職員 **瀬戸 大輔**さん (勤続8年)
社会福祉法人すこやか福祉会



① 目指したきっかけは何ですか？

ドラッグストアで働いていましたが、もともとおじいちゃんやおばあちゃんが好きで役に立つ仕事をしたいと考えていたので、介護福祉士になるために専門学校へ入りました。

② 働いてみて自分の成長を感じるの、どのようなところですか？

その人らしく生活することを支援するためにどうすべきかを考え、人の話をよく聞くようになりました。介護の仕事は毎日同じことの繰

り返しのようで、実は全然違います。利用者さんの日々の変化に気付くことも介護職の大切な役割だと思っています。

③ この仕事のやりがいとは？

専門学校時代、恩師がよく「感謝されることが多い仕事だよ」という話をされていました。本当にその通りで、利用者さんの「ありがとう」が励みになっています。

④ 大変なことは何ですか？

お話ができない利用者さんの介護です。これでお話できたのか。本当に望んでいることなのか…いつも自分に問いながら仕事をしています。

⑤ あなたにとって「介護の仕事」とは？

「楽しい」です。

周りの職員にも聞いてみたのですが、みんな同じでした。利用者さんができないことをサポートする一方、できることを維持する方法をチームで話し合ったり、工夫したりできるので最高に楽しいです。

⑥ ワーク・ライフ・バランスは、取れていますか？

はい。希望すれば連休も取れます。休日は妻と車で遠出したり、買い物に出かけたりしています。産休を取って復帰する女性スタッフも多いです。

⑦ これからの目標を教えてください。

技術や知識のアップデートはもちろんなのですが、利用者さんがその人らしく生活するために、僕らが考え積み重ねてきたことを後輩にアドバイスしながら、一緒により良い介護を考え続けていきたいと思っています。

中学生の時に
なりたかった職業は？
特別支援学校の先生



介護職員 **渡辺 晃平**さん (勤続4年)
社会福祉法人わたり福祉会



① 目指したきっかけは何ですか？

小学校2年生から高校までサッカーに夢中でした。高校で進路の話になった時、「スポーツインストラクターか介護の業界で働いてみたい」と先生に伝えました。すると「介護は長く働けるし、性格的に合ってるんじゃないか」と。とても納得できたので、まずは勉強しようと思って福祉系の大学に進学しました。

② 働いてみて自分の成長を感じるの、どのようなところですか？

利用者さんの言葉や行動の奥にある思いを見極めようとする事です。例えば、「帰りたい」という言葉もいろんな意味を含んでいます。こ

ちらの考えを押し付けず、利用者さんの思いを大切にすることは難しいですが、そこに介護職の力量が出ると思います。

③ この仕事のやりがいとは？

利用者さんのために工夫したことが役立つ時などですね。以前、ショートステイの担当だった頃、毎日行うレクリエーションを工夫したら、「楽しかった。また来るよ。」と喜んでくださったんです。そうした実感がやりがいになっています。

④ 大変なことは何ですか？

その人らしさを守ることだと思います。これまでどんな生活をしてきて、どのように過ごしたいか、理解することが難しいときもあります。その人にとって一番いいケアを考えますが正解はないので、日々いろんな職員と話し合いながら介護をしています。

⑤ あなたにとって「介護の仕事」とは？

「支える仕事であって、実は自分が成長できる仕事」です。

自分ばかり支えている気になっているけれど、実は人間的に成長させてもらっていると感じています。

⑥ ワーク・ライフ・バランスは、取れていますか？

申請すれば長期休暇も取れます。僕には3日仕事をして休むというパターンが合っているので満足しています。休日は、先輩に教わった海釣りに行ったりしています。リフレッシュしてまた次の仕事に取り組んでいます。

⑦ これからの目標を教えてください。

勤めている施設の理念である「自分が入所したい施設づくり」の実現に向けて、後輩たちと頑張っていきたいです。

中学生の時に
なりたかった職業は？
サッカーに関わる仕事

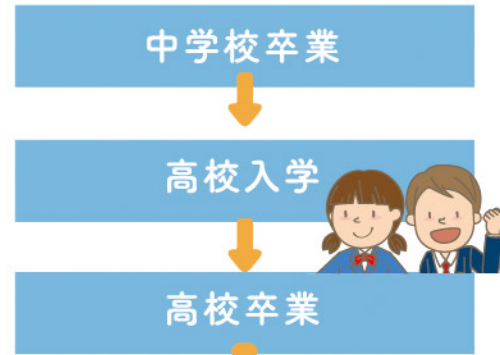


Question 4

「介護の仕事」に就くルートは？

無限に広がるミライが君たちを待っている！

介護の仕事に就くためには大きく分けて2つのルートがあります。介護の仕事は資格がなくてもはじめられますが、介護福祉士の資格を取得すると、知識・技術が身に付いて専門性が高まるだけでなく、仕事の幅も広がります。



2つのルートがあります！

Route 1

介護職として就職

働きながら資格取得



Route 2

養成校(大学・短大・専門学校)に進学

卒業・資格取得

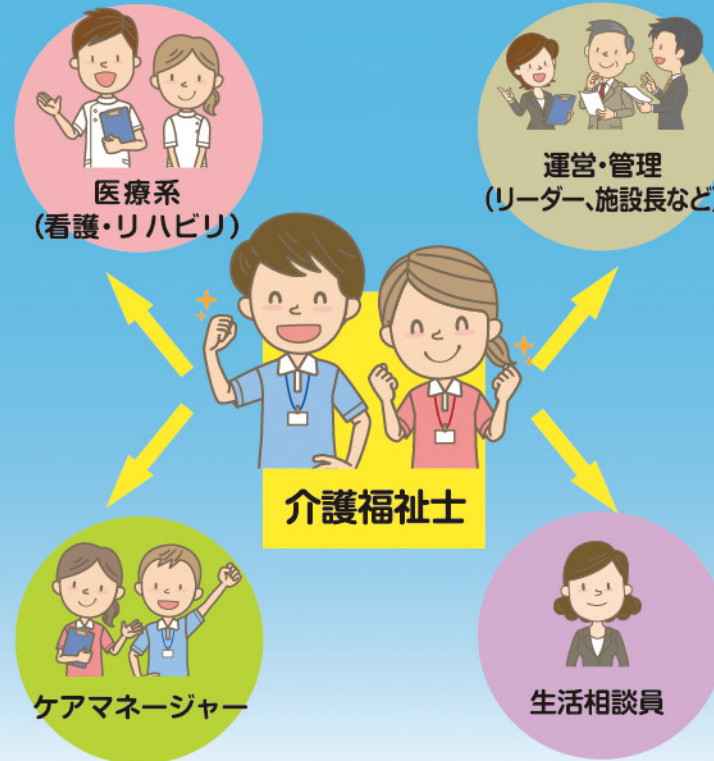
介護福祉士として就職

◆福島県内で介護について学べる養成校の情報は、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会「介護協」をチェック！

◆介護福祉士資格取得のための進学等に関する経済的な支援もあります。福祉人材センターまでご相談ください。

介護福祉士資格を取得すると様々な可能性が広がる！

介護福祉士とは「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格です。高齢化が進む中、介護の中核を担う介護福祉士の役割はますます重要となっています。介護福祉士としての知識や経験は、直接の介護だけでなく様々な部分で活かすことができます。



Kaigono Colum 2

「介護を支えるカタチ」

“介護 × ○○”の視点 ———— 様々な分野で利用者の介護を支えることができる仕事があります。

介護 × すまい



住み慣れた自宅で安心して生活ができるように、バリアフリーに住宅を改修します。

介護 × IT・ものづくり



高齢者の自立を支え、介護職の負担を軽減する福祉用具(福祉機器)やITソフト等の開発をします。

介護 × 食事



高齢者が食べやすいように工夫された食事(介護食)を開発します。

介護 × 外出・旅行



外出を安全に楽しんでもらえるように介護支援を行います。

Interview

養成校に通う先輩の声と先生からのエール

郡山健康科学専門学校1年生 五十嵐 彪斗さん



介護に興味をもったきっかけは何ですか？

地元の高齢化です。地元の高齢者施設で働くことで町に貢献したいと思いました。

いつ頃から進路を考えるようになりましたか？

高校1年生の頃には、父が大工なので継ぐという選択肢もありました。でも、高校2年生の時、専門学校のオープンキャンパスに参加して介護の勉強をしてみたいと思いました。

専門学校の科目で印象に残っているものを教えてください。

認知症の方とのコミュニケーションの仕方を学ぶ「認知症の理解」や目的や根拠を理解し寄り添うケアをする「介護技術」などです。すぐに実践してみたい内容でした。

将来、どんな介護福祉士になりたいですか？

利用者さんが求めるものを理解して、対応や技術に意味がある介護を提供する介護福祉士です。

郡山健康科学専門学校1年生 佐藤 夢萌さん



介護に興味をもったきっかけは何ですか？

介護福祉士として働いている母の姿をみて憧れていました。

いつ頃から進路を考えるようになりましたか？

高校です。入学するとすぐ進路の話になります。介護福祉士になると決めていたので、進路も資格取得を目指せる専門学校と決めていました。

専門学校の科目で印象に残っているものを教えてください。

「家政学」です。刻み食や流動食などを作って試食しました。食事の形態が変わると味も変化するというのが印象的でした。

将来、どんな介護福祉士になりたいですか？

利用者さんに寄り添い、求められるケアに目的と根拠のある介護ができる介護福祉士です。

介護は人の幸せを支える仕事

郡山健康科学専門学校
介護福祉学科 学科長
窪木 守先生



「介護」の対象者は高齢者だけではなく、障がい者や障がい児なども入ります。いろいろな場面で介護を必要とする方々が、幸せになるために支えるのが介護の仕事だと思います。介護の仕事は今後ますます必要とされますし、国からのサポートもあるので安定しています。一緒に利用者さんを支えませんか。

介護のカタチイマココ

動画で詳しく
見てみよう



最先端の介護機器
「HAL®腰タイプ
介護・自立支援用」。

脳から筋肉へ送られる
生体電位信号を読み取って
人の動きをサポート。
腰痛のリスクを減らすと
期待されています。

ベッドから車イスやトイレなどへ
移乗する際に使われる床走行式電動リフト



介護に関わる人の負担を
和らげるマッスルスーツ

最新テクノロジー 介護

郡山健康科学専門学校の
窪木守先生と、
佐々木謙太郎先生に
伺いました。



郡山健康科学専門学校
介護福祉学科 学科長
窪木 守 先生

郡山健康科学専門学校
介護福祉学科 教員
佐々木謙太郎 先生

最新テクノロジーの導入によって介護の質の向上を!

介護ロボットとは、介護サービスを提供する介護職員と介護サービスを受ける利用者さんのそれぞれを支援するために作られたもので、様々な使用場面に合わせたロボットがあります。

例えば、利用者さんをベッドから車イスに移動させる「移乗介助」では、体の使い方を間違えると介護職員の腰に負担がかかり、腰痛の原因となることがありますが、移乗支援のための介護ロボットを使うと体にかかる負担を減らすことができます。

また、介護職員の負担や時間を減らすことで、空いた時間を利用者さんと関わる時間に充てることができるため、介護の質の向上にもつながっています。

窪木先生は、「VR*1を使用して介護場面の模擬授業を行いました。実体験をすることで学生にとって介護のイメージがわかりやすいことが、大きなメリットと感じています」と話します。そのほか、

認知症を体験できるソフトもあり、当事者の目線に立つことで介護の仕方を考えるきっかけにもなるのだとか。「介護ロボットや福祉用具を使うことで、介護職のケアの仕方や利用者さんの生活も変わりますが、お互いにとって安全かつ安心な介護を提供することが重要だと思います」と窪木先生。

将来性についても佐々木先生は、「介護はなくなる仕事だと思っています。介護ロボットなどの先進技術により便利になったり楽になったりしますが、介護は人と人とのつながりのある仕事だと思っています」と話します。介護のすべてを最新のテクノロジーでまかなうのではなく、必要な場面にうまく使うことで、職員にとっても、利用者さんにとってもより良い介護の環境づくりが進められています。

*1:バーチャルリアリティの略。現実に近い感覚を与えるもの。

施設見学の
ススメ



実際に施設を 見てみませんか？

実際に自分の目でみて、話を聞くことで介護の仕事に対するイメージが
つきやすくなります。興味をもったら是非見学をしてみましょう。福祉
人材センターはみなさんの『施設見学』をサポートします！

参加者のみなさんの声

寝たきりの方でも入れ
るお風呂があってびく
りしました！介護への興
味がわきました。見学
できて良かったです。



職員や利用者さんの表
情や雰囲気を感じるこ
とができ、とても参考に
なりました。今回学んだ
ことを将来の仕事選び
に役立てたいと思いま
した。

話を聞いたり自分で調べた
りしましたが、実際に見学
して具体的に知ることがで
き、体験しないとわからない
こともあったので、いい経験
になりました。



施設見学についてはこちら！

福島県福祉人材センターまで
お気軽にご連絡ください！
TEL024-521-5662

福祉・介護の仕事をわかりやすくまとめたパンフレットや動画があります。



じっくり読むなら
パンフレットが
おすすめ



▲福祉・介護の仕事の入門編

動画は
こちらから
チェック！



人間だからこそ、
人間にしか
できない仕事がある。
それが介護職。

▲福祉のシゴトを新しい視点で考えてみる

パンフレットは
こちらから



福祉・介護の
仕事に関することは
こちらに相談して
ください→

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

福島県福祉人材センター

〒960-8141 福島県福島市渡利字七社宮111番地

令和2年度福島県委託事業

TEL024-521-5662

HP <https://f-fjc.com/>

